



THE Y'S MEN'S CLUB OF KOBE PORT
KOBE PORT

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Chartered May 8, 1988
神戸ポートワイズメンズクラブ
〒650-0001 神戸市中央区加納町 2-7-11
神戸 YMCA 内
Tel 078-241-7204
Fax 078-241-3619
E-Mail: houshi@kobeYMCA.org
http://www.kobeYMCA.org/
第1例会第4水曜日 18:30-20:30
第2例会第1木曜日 19:00-20:30

第404号

2021年8月

会長(C P)宮内伸浩「メンバーを知ろう、活動を知ろう」 "Let's get to know the members and our activities."

国際会長(IP)Kim Sang -chae(Korea)

Theme: "Y's Men with the World"(世界とともにワイズメン) Slogan: "Heal the World"(愛と尊厳で世界を癒そう)

アジア太平洋地域会長(AP)大野 勉(JWR)

Theme: "Make a difference beyond the 100th" 「100年を超えて変革しよう」 Slogan: "Be healthy!"(健康第一！)

西日本区理事(RD)主題・スローガン：新山兼司(京都トップス)

テーマ：“Challenges for the future”(未来への挑戦)「羽ばたこう！2022年ワイズ100周年に向かって」

六甲部部长(DG)大野智恵(神戸ポート)

「寄り添い、分かち合い、『三方よしでみんな笑顔』“Snuggle up and share with you”Smile on each side”

8月強調月間 LTOD、IBC,DBC

リーダーシップを学んでください！クラブ・部・区等あらゆる機会に学びの場があります。

全てを有意義に捉え、スキルアップをして、リーダーシップを身に付けてください。

鵜丹谷剛ワイズリーダーシップ開発委員長(神戸クラブ)

締結しているクラブ同士で連絡をとりあい、近況報告並びに協働事業を検討しよう。締結をしていないクラブは他クラブ訪問を試みましょう！ 深谷 聡 国際・交流事業主任(名古屋クラブ)

<8月第1例会>

第5派到来！まだまだ先は見えません。ワクチン進まず、感染広がる。今は、ただできることをするだけです。周りをよく見て、明日を信じて歩きましょう！

<記>

- ・日時：8月25日(水)19:00～20:20
- ・場所：ZOOM 会議室
- ・ドライバー：大野 勉ワイズ
- ・開会点鐘：宮内伸浩会長 ・ワイズソング
- ・聖句・祈祷：丹羽和子ワイズ
- ・スピーチ：「アジアレポート」稲田創一郎氏
タイ・バンコック駐在企業人(大野勉の甥)
- ・諸連絡、YMCA 報告
- ・今月のお誕生日、ニコニコ、今月の歌
- ・閉会点鐘：宮内伸浩会長

HAPPY BIRTHDAY!

8月30日：廣瀬頼子ワイズ

<2020-2021年度のファンド・累計>

	7月	累計
ニコニコ	0円	36,500円
物品販売	0円	15,000円
じゃがいも	0円	310,800円
新玉ねぎ	0円	512,068円
合計		856,368円

<7月出席状況>

出席率：82.4%(出席数)14/17(出席率対象会員数)
充足率：59.1%(メン13名,ゲスト&ビジター0名)

<今後の主な予定>

<8月第1例会>

8月25日(水)19:00～20:20 ZOOM 会議室
「ワールドだよりタイ・バンコックから」稲田創一郎氏

<9月第2例会>

9月2日(木)19:00～20:20 ZOOM 会議室

<9月第1例会>

9月22日(水)18:30～20:20(YMCA 会館&ZOOM)

<2021年8月の聖句>

わたしは、平和をあなた方に残し、わたしの平和を与える。私はこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな。
ヨハネによる福音書 14章 27節

2021-2022年度クラブ役員

【会長】宮内伸浩【副会長】中山迅一【直前会長】山田滋己【書記】中山迅一【会計】丹羽和子、小田浩、手塚貴子【監事】水野雄二【担当主事】松田道子

卓話の新しい試みが始まりました(会長メッセージ) 会長 宮内 伸浩

先月の会長メッセージでも触れましたように、クラブメンバーを卓話話者として新年度例会をスタートさせました。年間でメンバー全員お話しいただけるように、基本毎月2名の卓話を計画しています。トップバッターは“言い出しっぺ”の私が務めました。続いて、チャーターメンバーの郡ワイズにお願いしました。郡ワイズは、クラブ独特の行事である真生塾夏祭りボランティア、オリンピッククリスマス会ボランティア、じゃがいもファンドのそもそものことの起こり、意義、および参加することの大切さを分かりやすく話して下さいました。行事が、鈴木ワイズはじめチャーターメンバーの人的結びつきに由来していることを知り、ぐっと身近に感じられるようになりました。

おかげで、EMC活動の一環としてのメンバー定着の意味も込めた会長主題「メンバーを知ろう、活動を知ろう」のうち、後者が順調に立ち上がりました。

ところが、私が露払いを務める筈の前者は、波乱含みの幕開けとなりました。持ち時間25分に2つのテーマ、パワーポイント提示と、少々盛りすぎたようです。最初のテーマ、私の会社現役時の生業、企業内コンピュータシステムってどんなものか、という話から、巧みな展開で(少々自惚れがきついですが)次のテーマ、私自身の前立腺がんの治療の選択の話へと移ってゆく目論見が、時間の切迫によって果たせず、内容自体も言い足りなさが残りました。

そこで、クラブ内に限らず、すべてのワイズの皆様にお知らせしたい要点のみ、この場を拝借して述べさせていただきます。前立腺がんといっても良性から悪性まで個人差に幅があります。前者の度合いが強いものは持ったまま天寿を全うすることもできるおとなしいもの。しかし後者の部類は、放っておくと主に骨に転移し、生命にかかわります。そして初回の治療によって体内から完全に除去できるかどうかで、完治するか、再燃し徐々に骨転移へ進んでゆかが決まります。例えば悪性の中では比較的質の良いもの(中リスクと言われています)では一般に、前立腺全摘手術か、外部からの放射線照射治療のいずれかが選択されます。しかしいずれでも、統計上3割ほどの患者で、がんを除去しきれないようです。その場合、がんが再燃し、残されるのは対処療法のみとなり、やがてそれも効果がなくなる日が来ます。

そして3割という壁は、治療法の原理上やむを得ぬものです。高リスクではこの割合は更に大きくなります。これでは患者としてはロシアンルーレットを強要されているようなものです。しかし、希望があります。それがお知らせしたいことです。一般に低リスクの症例に適用される小線源治療を改良し、中リスク、さらに放射線外照射と組み合わせることにより高リスクがんにも対応できるようにした治療です。原理的に3割の壁を越え、再燃率を3%程度に抑える、文字通り桁違いの成果が出ています。

私もこの治療を選択し、現在何の心配もなく暮らせています。もし、西日本、東日本、あるいはアジア太平洋地域のワイズの皆様、あるいはお知り合いに前立腺がん治療法でお悩みの方がいらっしゃれば、連絡いただければ幸いです。選択肢を提供させていただきます。

<今月の聖句について>

イエス様の言われる「わたしの平和を与える」とは、十字架の死による平和であります。

「世が与えるように与えるのではない」とも言われています。これは、十字架にかけられる直前の最後の夜に弟子たちの足を洗われたイエス様のお姿で表されています。

決して華々しいものではありません。真の平和とは、お互いが仕えあい、つながり続けるということで初めて実現するということでしょう。今のような不穏をおびえるな。」

丹羽和子

大野勉の甥にあたる。小さい頃から冒険好き。海外にもよく足を運んでいた。メンバーの小田ワイズより質問の手紙が届き、バンコクへ送っています。どんな話が出るのか、ワクワクしている。(大野ベン記)

<7月第1例会報告>

- 日時:2021/ 7/28(水)19:00-20:20
 - 場所:神戸YMCA[対面]、自宅他[遠隔]ハイブリッド
- <ハイブリッドでの会長引き継ぎ式>



<8月第1例会 スピーカーについて>

稲田創一郎 (いなだ そういちろう) 氏

株式会社ダイゾー(エアゾール事業部)社員。現在タイ・バンコクに派遣されている。西宮市出身。48歳

<メンバースピーチ①宮内会長>



年度替わりに際し、新旧クラブ役員引継ぎ式を行いました。新会長がリモート参加という異例の式となりました。続いて大野智恵六甲部長に六甲部方針説明をしていただきました。

卓話では、新年度の新しい試み、EMC活動の一環としてのメンバー定着の意味も込めた会長主題「メンバーを知ろう、活動を知ろう」の一環としてのメンバー卓話が始まりました。内容は会長メッセージをご覧ください。（宮内会長）

<メンバースピーチ②郡伊>

本チャーターメンバーである郡伊からは、じゃがいもファンドの大切さ、オリンピック特別養護老人ホームとのつながり、そして真生塾との関わり等の話がありました。



7月第2例会記録(抜粋)

1. 日時: 2021年 8月 5日(木) 19:00-20:20
2. 場所: 自宅他[遠隔]
3. 出席者: 大野勉、大野智、小田、郡、丹羽、細見、松田、水野、宮内、山田
4. 内容:
 - (1) 7月第1例会
 - ・日時: 2021/ 7/28(水) 19:00-20:20
 - ・場所: 神戸YMCA[対面]、自宅他[遠隔]ハイブリッド
 - ・出席者: メンバー井上、大野智、大野勉、小田、郡、園田、丹羽、松田、水野、山田[対面] 井内、中山、宮内[遠隔] 13名
 - ・内容: 部長方針説明、役員引継ぎ
メンバー卓話
・「企業内コンピュータシステムの話から前立腺がん治療の話へ」宮内会長
「チャーターメンバーとして真生塾、オリンピック、じゃがいも販売のことなど」郡伊
 - (2) 7月度活動報告
 - ・7/16(金) 六甲部キャビネット会 19:00-20:00
 - ・7/17(土) 六甲部第1回評議会議案説明会(オンライン)
以降クラブ内で評議書とりまとめ
7/31(土) 評議書締切、評決結果 8月上旬公示
 - ・7/20(火) 18:00-20:00 東京むかでクラブ本例会(ZOOM)
大野勉、小田、山田
 - ・7/23(金) 18:30-20:30 石巻広域クラブ第1例会(ZOOM) : 小田
 - ・部長訪問 7/14(水) 宝塚、7/15 神戸学園都市 7/21 芦屋
大野智恵、勉、水野、山田



<3人従え部長の訪問>

- ・7/31(土) 19:00-20:30 アジア太平洋地域憲法改定説明会
[ZOOM] 大野勉、智恵、宮内
- (3) 7-9月のクラブ例会
 - ・7月第1例会 : 上記(1)の通り。
 - ・8月第2例会: 上記の通り。
 - ・8月第1例会: 8/25(水) 19:00-20:20
食事なし、リモートのみ
ゲストスピーカー@BKK (40分)
「アジアレポート: BKKより」稲田創一郎氏
メンバー卓話: 大野勉
 - ・9月第2例会: 9/2(木) 19:00-20:20
 - (4) 今後の予定、他クラブ例会等
- ・8/14(土) 13:00-16:00 アジア太平洋地域大会
申込受付中、参加費無料
大野勉エリア会長: 就任式、挨拶
- (5) 協議課題
 - ・アジア太平洋地域憲法改定投票について 締切 8/15
投票は改訂賛成の線で会長一任
 - ・移動例会について
塩屋グッゲンハイム邸は予約が取れなかった。
近江八幡ヴォリス建築見学はどうだろうか。
→コロナ収束次第 (2022年5月28日(土)予定)
移動例会の決まりごとはないが、他クラブの方を招いたり、ゲストを招いたりしている。
 - ・ローンボール初級者大会参加について 9/12(日)
会場: しあわせの村
※当クラブから参加、クラブ内で参加者を募る
 - ・地域奉仕事業 「まなびと」 移転に伴う支援活動
運用上の支援ができないか検討
原点の地域清掃活動に戻るか (継続)
 - ・“32年間蓄積したクラブの資産の整理、共有 等”資料
(山田素案)
別紙資料に基づいて、DBC トライアングルとの説明がなされ、今後、例会予定を互いに知らせ、参加することを確認した。(担当: 小田、園田)
 - ・神戸YMCA 会館使用時施設ルール確認
例会終了後、部屋を片付けて退館する (午後9時)
備品貸し出しは、午後6時までに事務所に申し出る
(備品は教室にまとめて置いておく)

<会員投稿>

熱帯雨林を歩く

宮内 伸浩

ついこの間、熱帯雨林をさまよい、漸く空が開けたところまで辿り着いた時の写真です。

もちろんデタラメです。須磨と長田にまたがる高取山、その参道上り坂を外れた、脇登山道の途中の眺めです。この地点を通る時、垂れ下がった蔓(つる)の繁茂を見ると、いつも熱帯雨林を想像してしまいます。



ここ数年、毎年が異常気象、こうなればもはや異常ではないような気がします。異常な高温、ゲリラ豪雨。マラリヤの北上。熱帯雨林を想像の中に閉じ込めるよう、我々一人一人が真の意味でのSDG sを問い詰めなければならないのですね。

コロナ禍で出来る事

山田 滋己

みなさまご存じの通り感染拡大で、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の発出が繰り返され、また解除期間中も感染リバウンド防止対策が発出される状況でもあります。正念場が続き疲れてくる一方で、息抜きやストレス解消の方法が限られてしまい、手軽だった会食やカラオケ等は厳禁のような実態で、これも致し方ない状況でもあります。

検温、手指の消毒、マスク着用、リモートワークやリモート会議、時差移動、時差喫食、黙食、ワクチン接種等々の対策徹底はもちろんですが、楽しむことで疲れを解消し免疫力を高める事も重要だと思います。

密を避けられる楽しみ方の一例として、リモート飲み会、トレッキング、キャンプ(家族のみ、ソロ)等が挙げられます。日本ではキャンプという日帰りや2、3日ぐらいでテントを張ってBBQをしてというイメージが強いですが、海外では2週間や1ヶ月等の長期でバンガローやロッジに滞在して広大な自然と触れたり、様々なキャンプアクティビティをしたりして過ごす中で、心身共にリフレッシュしたり体力の増進をしたりという事もキャンプのカテゴリです、といえますか、このようなケースの方が多いと(米)フロストバレーYMCAの事例で学んだ事があります(テントは少し敷居が高いと思われる方でも楽しめます)。今の時期ゆえに、充分なディスタンスを取れる場所で、少し長めの滞在というキャンプも如何でしょうか。自身も少しずつではありますが、キャンプとは何かをさらに深く学び実践(実習)していきたいと思えます。

神戸YMCA レポート/ニュース

(1) 7月22日、神戸YMCA サマーキャンプは、オリブ号に乗った余島冒険キャンプジュニア①の子どもたちが、セミの大合唱と夏の陽射しの出迎えを受けて余島に上陸して始まりました。余島で行われているキャンプの様子は、『余島日記』をご覧ください。

『余島日記』 <http://yoshima-blog.org/>

今夏は、六甲山YMCAで3日間の日帰りディキャンプ、そして1泊2日のキャンプも行われました。新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける子供たちやユースですが、「人と出会い 神と交わり 愛の火の燃えるところ」で豊かな心が育まれることを願います。

神戸YMCA キャンピングサービスセンターは、公式YouTubeチャンネルを開設しています。登録数は1,000人を超え、モバイルアプリでライブ配信ができるようになりました。ぜひ皆様もご登録いただき、余島の素晴らしい自然を、また様々な講演をご覧ください。

『Kobe YMCA Camping Channel』

<https://www.youtube.com/c/KobeYMCAcampingChannel>

(2) 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている神戸YMCAで学ぶ学生・生徒への生活支援について、ワイズメンズクラブの皆様、企業、団体、そして個人の方々からのご支援ご協力を多くいただいております。この場をお借りして心より厚く御礼を申し上げます。

感染の収束の兆しが未だ見えず、学生・生徒へ生活支援物資の支給を継続しております。生活支援活動について、『学生生活支援報告書 Vol.2』を作成いたしました。維持会員の皆様には神戸青年とともに発送いたします。また報告書は神戸YMCAのHPでもご覧いただけます。

<https://www.kobeymca.org/data/pdf/gsb.pdf>

(3) 神戸YMCA 余島キャンプ70周年記念事業『YYY 余島シニアキャンプ』に参加しませんか!

9月、大野勉実行委員長のもと、以下の通り開催されます。ぜひご参加ください。

日時：2021年9月18日(土)～20日(祝) 2泊3日
参加費：36,000円(交通費別)

※ちらし案内ご希望の方は、担当主事までご連絡ください。

※詳細は以下をご覧ください。

<https://www.kobeymca.org/ys/files/yyy-yoshima-senior.pdf>

<国際の窓>

○強調月間内容について

昨年度までと異なって、今月の強調月間の内容が変わっています。これは、これまで西日本区独自に進めていたものを、国際と合わせた結果です。東西日本区だけでなく、全世界で同じ取り組みを行っていきます。

○事業について

西日本区ではワイズの活動を大きく5つに集約しそれぞれ主任、主査を置いて活動していますが、国際では多くの事業があり、それぞれに主任を置いて活動をしています。ハンドブック&ロースターP.20・21を参照ください。

<あとがき>

白球の 快音聞けず 戻り梅雨 弁子
せっかく開催された夏の甲子園ですが、球児たちは泣くに泣けない大雨が降り続いています。青空が待ち遠しい。